

連絡先 市民ネットワーク千葉県
〒260-0013
千葉市中央区中央 4-10-11 アイビル4F
電話・FAX 043-201-1051
mail info@chiba-kennet.com



ブログ 伊藤としこのひとりごと →

市民ネットワーク

伊藤とし子

発熱外来

電話がつながらない!!

今年8月、新型コロナ第7波が猛威を振るい、千葉県内の新規感染者は連日9,000人を超えました。「発熱外来」に電話をしても繋がらず、医療を受けられない人が多発しました。

● 少なすぎる発熱外来

千葉県内の医療機関（歯科診療所を除く）は**4276**。そのうち発熱外来の指定医は**958**。わずか**22%**です。全国では何と最下位！

右の「10万人あたりの発熱外来数」の図をご覧ください。千葉県は、一番多い鳥取県の4分の1、全国平均の2分の1しかありません。

また、発熱外来に指定されたあと「公表」している割合が**68%**しかなく、これでは電話が殺到してかかりにくくなるのは当たり前です。千葉県に対し「**発熱外来の指定率**」を**50%程度に引き上げ、全て公表するよう強く求めました。**

● 発熱外来をもっと増やすには

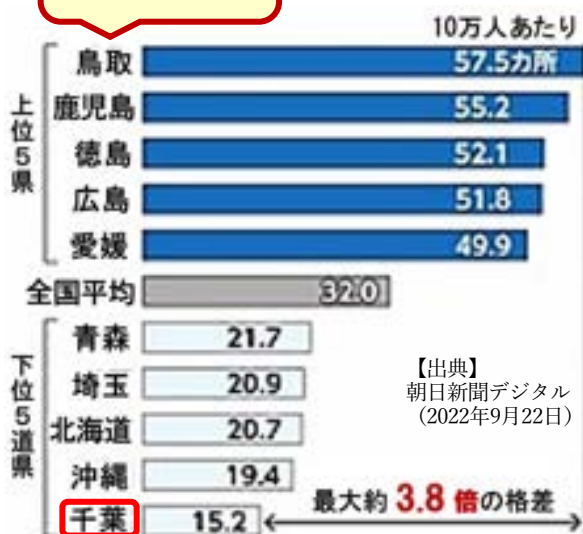
格差は県内でも広がっています。佐倉市の指定率は**21%**。しかし隣の八千代市の指定率は**35%**。県内37市で最高です。

八千代市は発熱外来を増やすため、市内医療機関が発熱外来に登録し公表すると、最大40万円の助成金が支給されます。

八千代市の取り組みを県内全域に広めるために、**千葉県として助成制度を設けるよう要望しました。**

抗原検査キットは必ず「研究用」ではなく「医療用」を選びましょう

人口10万人当りの発熱外来数



● 年齢差別を取り払って

第7波のときは、PCR無料検査（薬局や民間企業で実施）や、抗原検査キットの無料配布が行なわれましたが、全て65歳未満が対象。65歳以上は「かかりつけ医や発熱外来に電話をして受診して下さい」です。電話が繋がらない、外に検査キット等を買っても行けない高齢者が続出しました。

PCR無料検査は通年型に変更し、抗原検査キット無料配布は65歳以上の高齢者も対象とするよう、千葉県に要望しました。



● 県に2023年度予算要望書を提出！その一部を紹介します。

市民ネットワークでは毎年、政策提案となる予算要望書を県に提出。担当課への事前聞き取りには市民も参加して、要望案を作成しています。

医療福祉

- ◆ コロナ・オンライン診療の充実を。
- ◆ 国保保険料の値上げを防ぐ対策を。

こども

- ◆ 子どもを暴力から守る CAP の普及。
- ◆ 30人学級の早期実現と有機給食を。

環境

- ◆ 断熱住宅に基準を設け、助成する。
- ◆ ネオニコチノイド系農薬の規制。

原子力

- ◆ 汚染水海洋放出の阻止に尽力を。
- ◆ 東海第二原発の再稼働阻止に尽力を。

10月24日副知事に予算要望書を提出

● 10/28 熊谷知事との意見交換会

9項目について、知事と意見交換しました。「発熱外来」の少なさについては、知事も頭を痛めているとのこと。今後増やすよう、診療報酬のアップなど、国や医師会に働きかけるよう尽力するとのことでした。



旧統一教会 との関わりを徹底調査し公表を！

旧統一教会が、選挙応援の見返りとして、自民党国会議員と「政策協定」を結んでいたことが発覚し、大きな波紋を呼んでいます。

● 憲法、法律、条例にも関与か

国家権力を優先する自民党改憲草案と、教団の関連団体「国際勝共連合」の政策の酷似が指摘されています。また、来年創設される「こども家庭庁」への関与も疑われています。

地方についても、安倍元首相が押し進めてきた伝統的家族観を重視する「家庭教育支援法案」が、教団の関連団体の後押しによって、10県6市で条例化されています。

● 千葉県議会との関わり

朝日新聞の調査では、千葉県議84人の内、教団と何らかの接点があったのは12人。しかし自己申告なので当てになりません。また、教団側が発行する雑誌や新聞を、4人の県議（自民、立憲民主・千葉民主、無所属、元自民）が政務活動費で購入していることも分かりました。

千葉県では、堂本知事の時代に「男女共同参画条例案」が自民党に潰され、全国で唯一同条例を持たない県となっています。その背後には旧統一教会の関連団体の働きかけがあったのではないかと、指摘されています。

● 西田市長も関わっていました！



←昨年8月、旧統一教会関連団体が主催した「ピースロード」という自転車イベントに、西田市長（先頭）は職員2名、市議1名と参加し激励の挨拶をしました。

また、今年夏の参院選の際、西田市長は自民党全国比例の井上候補の応援依頼のため、教団を公務として訪問していました。

最も問題となるのは、**前回の市長選（2019年）で、教団の佐倉支部に選挙応援を依頼していたことです。**僅差の勝利に疑問が出ています。

● 意見書 佐倉市選出の県議の態度表明

閉会日（10/14）に旧統一教会と政治との関係について、徹底的な調査と事実関係の解明を求める意見書を提出しましたが、賛成少数で否決。

賛成 伊藤とし子
反対 伊藤まさひろ、入江あき子

意見書全文と趣旨説明はこちら



予算要望書全文はこちら

不便であぶないマイナ保険証

国は現行の健康保険証を2024年秋には廃止し、マイナンバーカードと一体化した **マイナ保険証** にすると表明。県が管理する国保も同様です。

マイナンバーカードの取得は法的に「任意」であるにもかかわらず、医療機関の受診に欠かせない保険証を「人質」として、強制的にマイナンバーカードを取得させようというものです。低迷するカード交付率（約5割）を一気に進める狙いです。

マイナ保険証

カードリーダー



パネルタッチ
とか苦手...

マイナ保険証 本当に便利なの？

がえってめんどくさい！

	これまでの健康保険証	マイナ保険証
交付時	そのまま使える。	マイナポータルかセブン銀行 ATM で登録。4ケタのパスワードが必要。
更新手続き	毎年、新しい保険証が郵送で送られてくる。	5年ごとに、自分で役所まで行き更新手続きをしなければならない。
受診時	月に一度、窓口で提出するだけ。	受診のたびに、窓口のカードリーダーで顔認証チェックをしたあと、2つの画面にタッチ。自分でやらなければならない。

- 千葉県内の医療機関におけるカードリーダーの普及率は、わずか**28.7%**。小さな病院では「システム改修など負担が大きいので、閉院するしかない」という声も広がっています。

マイナ保険証 やっぱ危険！



マイナ保険証について皆様の声をお寄せ下さい。

- ！マイナンバーカードは個人情報の塊。データは集約され企業に提供されかねません。保険証として持ち歩くと、紛失・盗難にあう可能性が大きくなり、最悪、詐欺グループに悪用される危険性が...
- ！マイナポータルの利用規約には、「利用者がシステム障害や情報漏洩で損害を被っても、デジタル庁は一切責任を負わない」という項目があります。マイナ保険証はごり押しなのに、トラブルば「自己責任」です。

佐倉の

給食をオーガニックに署名活動に取り組んでいます！



10月22日染井野七井戸公園で署名活動をしました。

千葉県は来年1月から、第3子以降の小中学校の給食費を無償化する予定で、9月県議会で3億2000万円の予算を計上しました。無償化と共に進めるべきは、給食のオーガニック（有機）化です。子どもたちが食べる食材は無農薬のものが最適です。

各地で進むオーガニック

千葉県内では、いすみ市が有機米100%の学校給食を実現し、野菜食材の有機化も進めています。木更津市も積極的に取り組んでいます。

両市とも、ゼロからの出発でしたが、今では有機生産者が増え、子育て世代の移住も盛んとなり、街おこしとしての実績をあげています。

佐倉市は？千葉県の役割は？

佐倉市は、地域ぐるみで有機農業に取り組む「オーガニックビレッジ」を宣言。しかし、学校給食については具体的な計画はありません。

県内格差をなくすのは県の役割です。有機農業の技術指導、有機食材の安定的な流通網の構築等を、県に対して求めています。

署名はこちらから

署名用紙ダウンロード用QRコード



佐倉市の学校給食のオーガニック化にご協力を！

ゲノム編集トマトの無償配布

来年、ゲノム編集トマトの苗が小学校で配られる？！

- ◆ゲノム編集食品は規制がなく、安全審査も行われません。
- ◆「健康に良い」などと宣伝されていますが、新たな毒性やアレルギー、がん誘発物質の可能性もあり要注意！
- ◆ゲノム編集トマトの開発企業は宣伝のため、来年、小学校にゲノム編集トマトの苗を**無償配布**する計画です。



県内全自治体で意向調査を実施

市民ネットワークでは県内54市町村に、苗を受け取らないよう意向調査を実施。多くの自治体が態度保留の答え。佐倉市は慎重にするとの姿勢を示しました。

あれから3年 2019年10月25日豪雨

水害対策はどこまで進んだのか

2019年10月25日豪雨では、鹿島川と高崎川の合流地点の周辺で深刻な浸水被害が起きました。その後、何度も現地を訪ね、市議と連携しながら議会質問や対策検討を重ねています。



2019年10月26日鹿島橋付近

10/25豪雨被害

家屋浸水
床上 18 棟
床下 50 棟
崖崩れ家屋被害 10 棟
土砂崩れ 118 件
道路冠水 61 件
通行止め 8 路線

10月25日豪雨では、高崎川上流の八街市で、1時間雨量100mmを記録。大量の水が下流に流れ、鹿島川との合流地点で越水が起きました。八街市での流下調整を訴えています。



鹿島川が流れ込む印旛沼の事前排水をやらなかったため水位が下がらず、河川からの水が溢れ出し、被害を大きくしました。11月11日鹿島川の様子を確認

その後の対策

- ◆鹿島橋より上流の右岸の築堤工事（堤防強化と嵩上げ）実施。
- ◆印旛沼の予備（事前）排水の基準を緩和し早期排水が可能に。
- ◆利根川への排水能力を高めるため、長門川の護岸工事と堤防嵩上げなどが進行中。完成を急ぐよう求めています。

田んぼダム 11/11 佐倉市にヒアリング



市役所で仕組みの説明を受けたあと、飯田の現地に移動。畔をしっかりと補強することがコツです。

「田んぼダム」とは、豪雨による浸水被害を防ぐため、水田に一時的に水をためる手法です。



9か飯田地区では今年7月、田んぼダムの農家が参加する。

路上駐車にご用心！ 10/6 警察常任委員会で質問

佐倉署が委託した駐車監視員が、重点地区に指定された住宅地を巡回し、路駐の車に駐車違反ステッカーを貼っています。（反則金1万5千円）ほんの数分でも貼られるので要注意！八千代署は駅前の繁華街を重点地区に指定。佐倉署はなぜ車の通行量の少ない住宅街を指定しているのか質問。しかし明快な規定はないとのこと。詳細→



重点地区の一つユーカリが丘（黄色いエリアが重点地区）